

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道161号 <small>こまつ</small> 小松拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局																					
起終点	自：滋賀県高島市勝野 <small>たかしま かつの</small> 至：滋賀県大津市北小松 <small>おおつ きたこまつ</small>			延長	6.5km																						
事業概要	一般国道161号は福井県敦賀市を起点とし、滋賀県湖西地域を経て滋賀県大津市に至る幹線道路である。小松拡幅は、交通混雑の緩和と交通安全の確保、沿道騒音の改善、地域の活性化等を目的に計画された道路である。																										
S45年度事業化	S50年度都市計画決定（大津市域） S51年度都市計画決定（高島市域） （H-年度変更）	S45年度用地着手	S47年度工事着手																								
全体事業費	約190億円	事業進捗率	30%	供用済延長	2.0km																						
計画交通量	29,000台/日																										
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">B/C</td> <td style="width: 15%;">(事業全体) 2.6</td> <td style="width: 15%;">総費用</td> <td style="width: 15%;">(残事業)/(事業全体) 130/333億円</td> <td style="width: 15%;">総便益</td> <td style="width: 15%;">(残事業)/(事業全体) 757/858億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(残事業) 5.8</td> <td>事業費</td> <td>101/299億円</td> <td>走行時間短縮便益</td> <td>704/797億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>維持管理費</td> <td>28/33億円</td> <td>走行経費減少便益</td> <td>44/49億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少便益</td> <td>9.4/11億円</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 2.6	総費用	(残事業)/(事業全体) 130/333億円	総便益	(残事業)/(事業全体) 757/858億円		(残事業) 5.8	事業費	101/299億円	走行時間短縮便益	704/797億円			維持管理費	28/33億円	走行経費減少便益	44/49億円					交通事故減少便益	9.4/11億円	基準年	平成27年
B/C	(事業全体) 2.6	総費用	(残事業)/(事業全体) 130/333億円	総便益	(残事業)/(事業全体) 757/858億円																						
	(残事業) 5.8	事業費	101/299億円	走行時間短縮便益	704/797億円																						
		維持管理費	28/33億円	走行経費減少便益	44/49億円																						
				交通事故減少便益	9.4/11億円																						
感度分析の結果	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">【事業全体】 交通量 : B/C=2.1~3.1 (交通量 ±10%)</td> <td style="width: 50%;">【残事業】 交通量 : B/C=4.7~7.1 (交通量 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費 : B/C=2.5~2.7 (事業費 ±10%)</td> <td>事業費 : B/C=5.4~6.3 (事業費 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間 : B/C=2.5~2.7 (事業期間 ±20%)</td> <td>事業期間 : B/C=5.7~6.0 (事業期間 ±20%)</td> </tr> </table>						【事業全体】 交通量 : B/C=2.1~3.1 (交通量 ±10%)	【残事業】 交通量 : B/C=4.7~7.1 (交通量 ±10%)	事業費 : B/C=2.5~2.7 (事業費 ±10%)	事業費 : B/C=5.4~6.3 (事業費 ±10%)	事業期間 : B/C=2.5~2.7 (事業期間 ±20%)	事業期間 : B/C=5.7~6.0 (事業期間 ±20%)															
【事業全体】 交通量 : B/C=2.1~3.1 (交通量 ±10%)	【残事業】 交通量 : B/C=4.7~7.1 (交通量 ±10%)																										
事業費 : B/C=2.5~2.7 (事業費 ±10%)	事業費 : B/C=5.4~6.3 (事業費 ±10%)																										
事業期間 : B/C=2.5~2.7 (事業期間 ±20%)	事業期間 : B/C=5.7~6.0 (事業期間 ±20%)																										
事業の効果等	①交通混雑の緩和 ・一般国道161号の小松拡幅整備区間では約2.1万台/日の交通量があり、交通容量を超過していることから混雑が発生しているが、整備により交通混雑の緩和が期待される。 ②交通安全の確保 ・小松拡幅区間では、年間20件程度の事故が発生しており、その6割が追突事故であるほか、歩道未整備区間が1.4kmあり、歩行者と大型車が近接するなど危険な状況であるが、整備により安全性の向上が期待される。 ③地域の活性化 ・大津・湖西地域の観光入り込み客数は、年間約1,500万人にのぼり、小松拡幅をはじめとする国道161号の整備により、観光地への時間短縮や定時制の確保が図られ、地域の活性化が期待される。 （道の駅藤樹の里あどがわ：H25観光客入込数890千人/年、マキノ高原・さらさ：H25観光客入込数405千人/年） ④高度医療施設へのアクセス向上 ・高島市～大津赤十字病院の所要時間が短縮。（67分→63分）																										
関係する地方公共団体等の意見	地域から頂いた主な意見等： 平成27年8月、国道161号改良整備促進期成同盟会（大津市長、高島市長、大津市議会議員、高島市議会議員で構成）より、早期整備の要望を受けている。 滋賀県知事の意見： 一般国道161号小松拡幅については、対応方針（原案）で【事業継続】とされているとおり、事業効果の早期発現に向けてさらなる整備促進をお願いしたい。地元も交通混雑、交通事故等の課題解消のため、当該事業の早期完成を強く望んでおり、一層の事業推進にあたって必要な予算の確保に取り組んでいただきたい。なお、滋賀県としても事業促進に最大限の努力をしております。																										

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道161号小松拡幅」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線地域の人口は近年減少傾向であるものの世帯数及び自動車保有台数は増加傾向。
平成27年度に、琵琶湖西縦貫道路を構成する「湖西道路(真野～坂本北)」が事業化。

事業の進捗状況、残事業の内容等

昭和45年度に事業化、用地進捗率82%、事業進捗率30%(平成27年3月末時点)
昭和49年度：高島市勝野から高島市鶴川の延長1.0km 4車線開通
昭和63年度：高島市鶴川から高島市北小松の延長1.0km 2車線開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業の実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

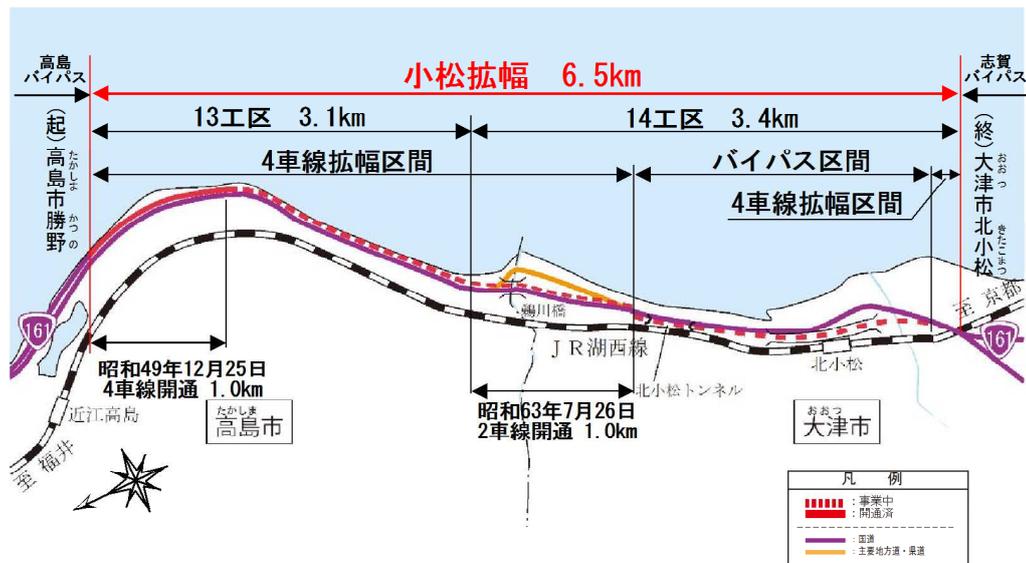
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

【位置図】



【概要図】



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。